TEAC

CQX1A1460Z*

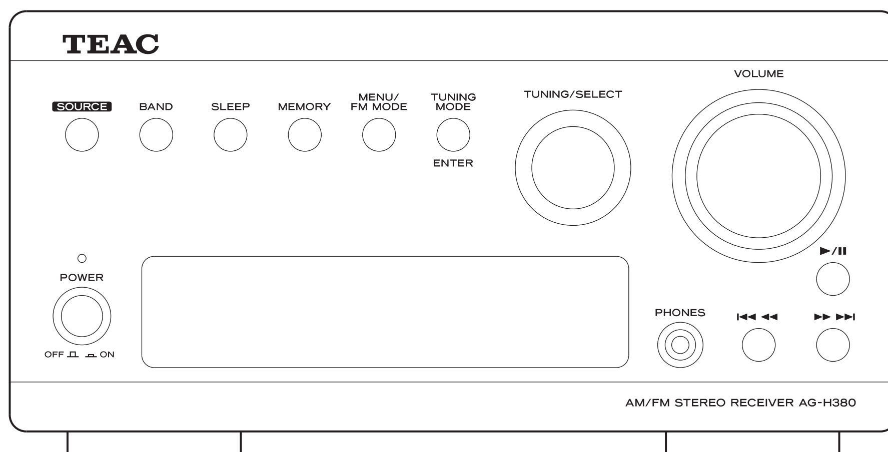
取扱説明書

AG-H380



AM/FMステレオレシーバー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目 次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはAVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

FMアンテナ×1
AMループアンテナ×1
電源コード×1
リモコン（RC-1225）×1
乾電池（単4）×2
取扱説明書×1
保証書×1

使用上の注意

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
変色や変形、故障の原因となります。

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPhone is a trademark of Apple Inc.

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。



注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	この機器の付属の電源コードを他の機器に使用しない。 故障、火災、感電の原因となります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
 電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意　乾電池に関する注意

禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意　乾電池に関する注意

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検	電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。 5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。 費用についてはお問い合わせください。

MP3/WMAについて

- 本機はUSBフラッシュメモリーを始め、MP3プレーヤーやHDDなど、さまざまなUSBストレージで記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。HDDはFAT16またはFAT32でフォーマットされたもののみ認識することができます。NTFSでフォーマットされたものは認識されません。

- ファイルの合計が2000を越えているUSBメモリーは、本機で正しく再生できないことがあります。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

- MP3/WMAファイルの認識はファイル拡張子(MP3の場合「.mp3」、WMAの場合「.wma」)で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。

- 拡張子「.mp3」または「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3またはWMAデータ形式でないファイルは再生できません。

- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1 kHzまたは48 kHz、ビットレートが320 kbps以下のファイルとなります。

- 本機で再生できるWMAファイルは、サンプリングレートが44.1 kHz、ビットレートが192 kbps以下のファイルとなります。

- 128kbpsでエンコードされたMP3/WMAファイルは通常の音楽CDに近い音質になります。本機では低ビットレートで記録されたMP3/WMAファイルも再生できますが、音質は多少低下します。

リモコンの使い方

リモコンの使用により、離れたところから機器の操作ができます。

使用上の注意

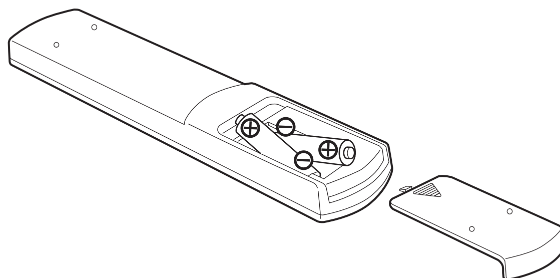
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池使用時の注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでご使用ください。

アンテナの接続

AMアンテナ

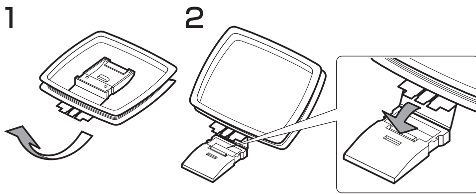
付属のAMループアンテナを組み立て、アンテナから出ている2本のコードをAMアンテナ端子に一本ずつ接続します。

黒のコード ➡ 黒の端子(GND)
白のコード ➡ 白の端子

AM放送の受信中にこのアンテナを左右に回して、受信状態が一番良い位置に置いてください。

AMアンテナの組み立て方

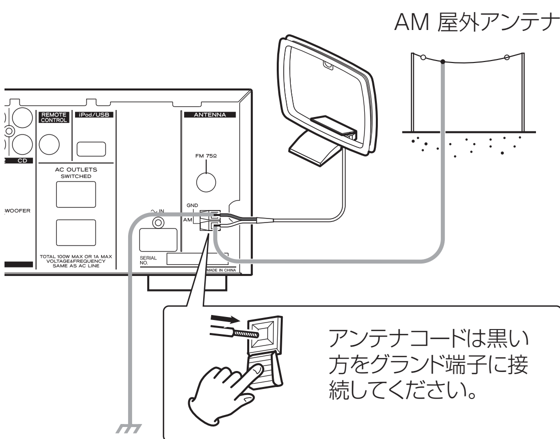
AMアンテナを組み立てるには、アンテナベースを矢印方向に回して起こし、アンテナループの下側のフックをアンテナベースの長穴に差し込んでください。



付属のAMループアンテナを組み立て、リアパネルのAMアンテナ端子に接続します。

AM屋外アンテナ

AM電波の弱い地域では、6〜15mのビニール線を窓際か屋外に水平に張り、AM端子のGNDでない側に接続してください。

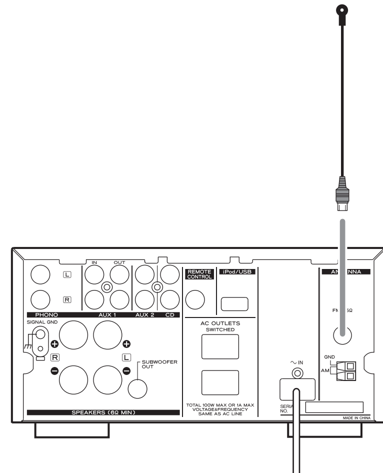


- 屋外アンテナを使用するときは、必ずGND端子をアースにつないでください。
- 屋外アンテナと接続する場合でも、付属のAMループアンテナは接続したままにしてください。

FMアンテナ [ANTENNA FM 75Ω]

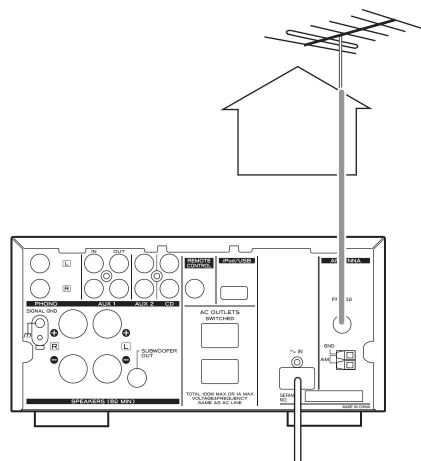
FM室内アンテナ

付属のFM室内アンテナをFM 75Ωジャックに差し込み、アンテナを伸ばします。受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。



FM屋外アンテナ

FM電波の弱い地域では3素子の屋外アンテナを使用し、75Ω同軸ケーブルで接続してください。
特に電波の弱い地域では、5素子以上のアンテナを使用してください。

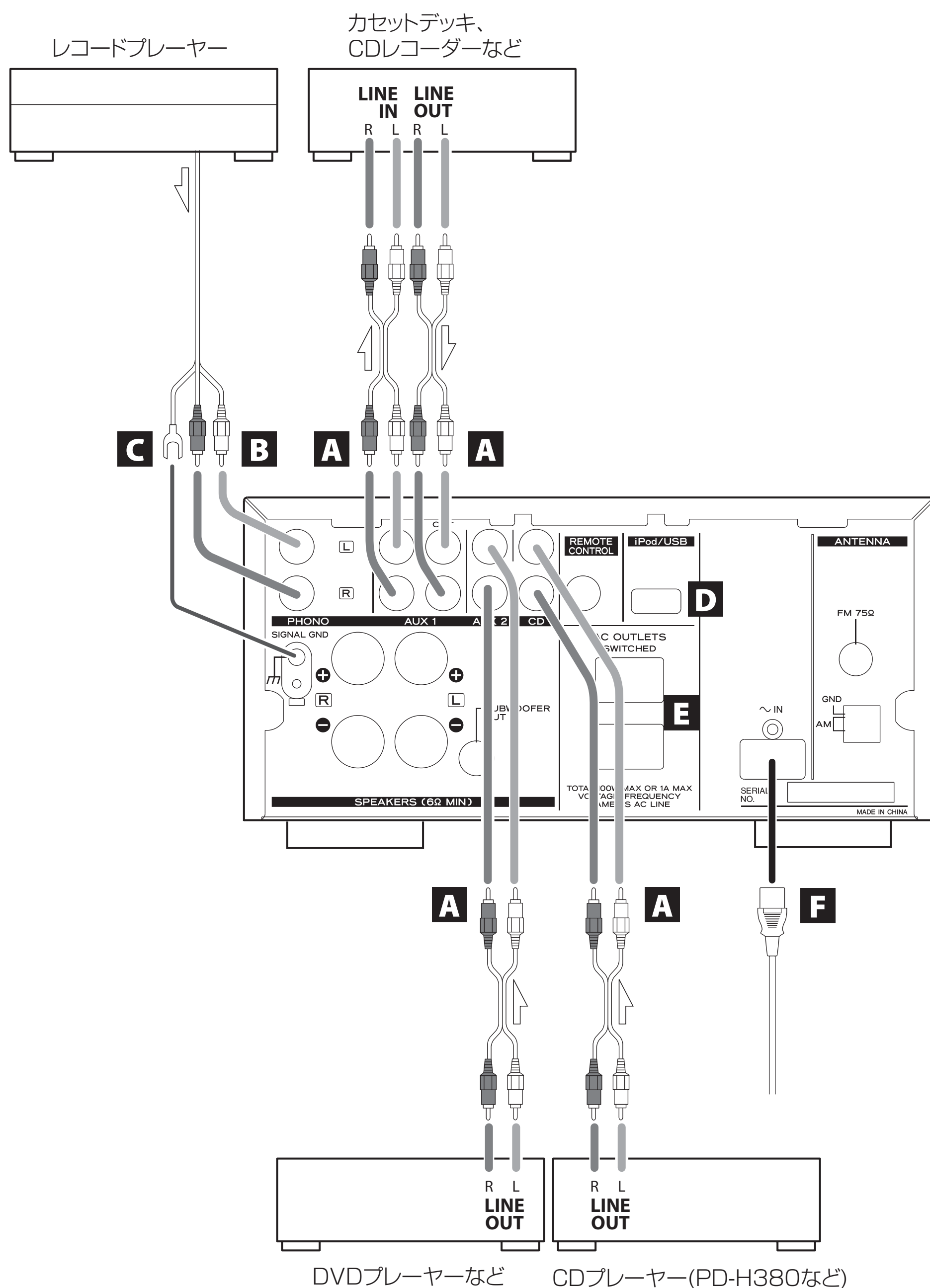


- 屋外アンテナを接続するときは、FM屋内アンテナを外してから接続してください。

接続方法

⚠ 接続時の注意

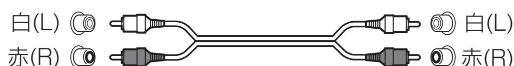
- すべての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ入力端子

アナログの音声が入出力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子に接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。



● プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B フォノ入力端子 [PHONO]

レコードプレーヤーの音声を入力します。
レコードプレーヤーのカートリッジは、MM型またはMM型相当の出力レベルのカートリッジをお使いください。

白のピンプラグは白(L)端子に、赤のピンプラグは赤(R)端子に接続してください。

● プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

C アース端子 [SIGNAL GND]

レコードプレーヤーなどのアース線を接続します。

● 安全アースではありません。

● レコードプレーヤーのアース線を接続しないと雑音が発生することがあります。

D USB端子

iPodやUSBメモリーなどを接続して再生できます。

● iPodを接続するときは、iPod付属のUSBケーブルをご使用ください。

● iPodシャッフルは、本機に接続しても再生できません。互換性につきましては、18ページをご確認ください。

iPodソフトウェアの更新

お使いのiPodが本機やリモコンで正常に動作しない場合、iPodのソフトウェアを最新のものにすると問題が解決することがあります。
以下のサイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
http://apple.com/jp/downroads/

E 電源アウトレット(連動) [AC OUTLETS]

本機に接続する機器(レコードプレーヤー、CDプレーヤー等)の電源をここからとることができます。本機の電源をオンまたはスタンバイにすると、接続した機器に電源が供給されます。

F AC電源コード

すべての接続か終わってから、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

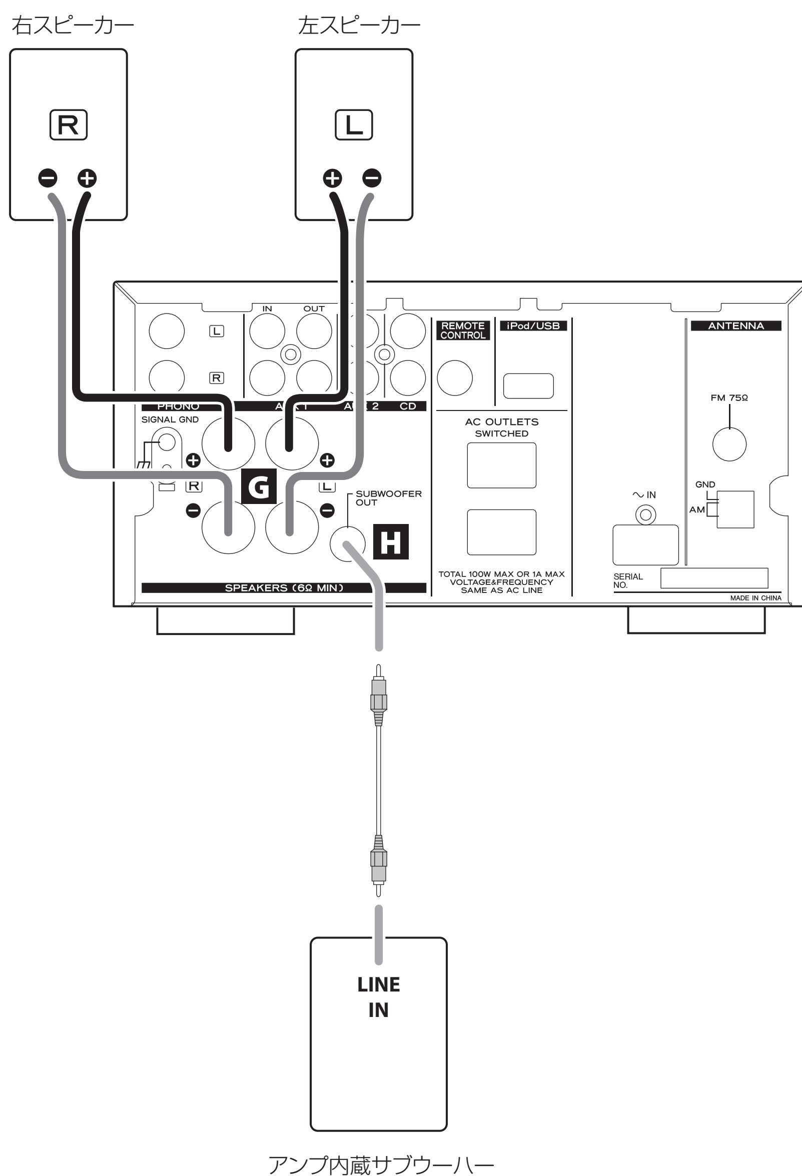
● ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

スピーカー接続



⚠接続時の注意

- 接続のときは、すべての機器の電源をオフにしてください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

システム接続

G **スピーカー端子**

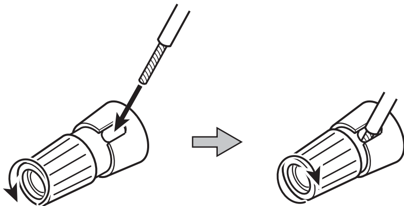
市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーを接続してください。

本機の赤い端子が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。

- スピーカー接続のときは、本機の電源を必ずオフにしてください。高レベルの信号が急に入ると、スピーカーがダメージを受けることがあります。
- スピーカーは公称インピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- 雑音の原因となりますので、スピーカーケーブルは電源コードやその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

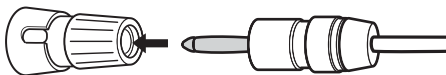
1. 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。
2. 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。



3. ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。



- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

H **サブウーハー端子**

小型のスピーカーを使用している場合は、サブウーハーを接続して低音を補強することができます。市販のオーディオケーブルを使って、サブウーハーと接続してください。

- サブウーハーは、市販のアンプ内蔵のパワードサブウーハーをお使いください。メインスピーカーとのバランスを取るために、聴き慣れたソースを再生しながら、サブウーハーの音量を調節します。曲によっては、お好みで調節してください。

ティアックリファレンス380シリーズをお持ちの方は、この機器と接続することにより、便利な機能を使用できます。

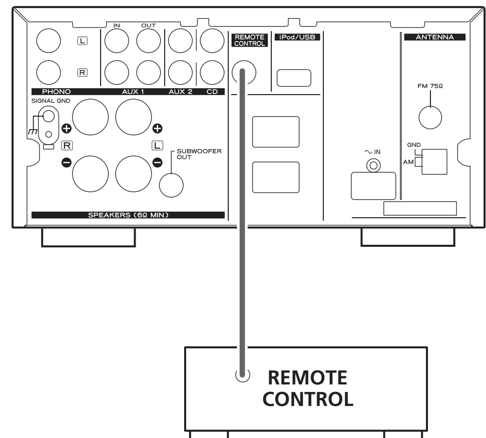
- 本機に付属のリモコンでシステム全体のスタンバイ/オンを切り換えることができます。
(PD-H380は背面のリモートコントロールセレクターを「SYSTEM」に切り換えてください。)

- PD-H380の再生ボタン(►)を押すと、本機の入力は自動的にCDに切り換わります。

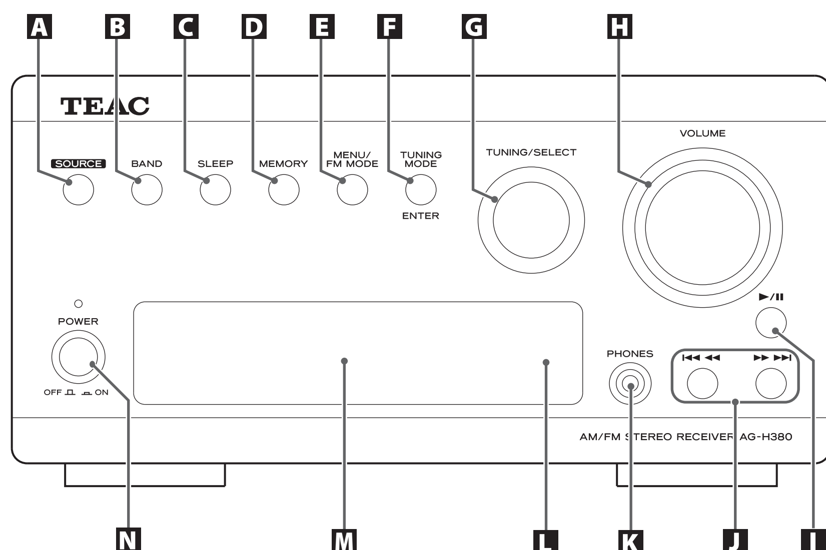
- 本機の入力でCDを選択すると、自動的にPD-H380の再生が始まります。

- 本機をオンにすると、オフまたはスタンバイになる前に選択されていた機器が自動的に再生されます。

リモートコントロールケーブルは、各機器のリモートコントロール端子に接続してください。



各部の名称



A 入力切換ボタン[SOURCE]
このボタンを押すたびに、ソースが切り換わります。

B バンド[BAND]
AMとFMの切り換えを行います。

C スリープ[SLEEP]
スリープタイマーの設定を行います。

D メモリー [MEMORY]
ソースがチューナーのとき、放送局をプリセットに記憶させるときに使用します。

E メニュー /FMモード[MENU/FM MODE]
ソースがiPodのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューに戻ります。iPodのメニューボタンと同じ働きをします。
ソースがチューナーのときは、FMのステレオとモノラルの切り換えを行います。

F チューニングモード/エンターボタン [TUNING MODE/ENTER]
ソースがチューナーのとき、チューニング方法の選択を行います。また時刻設定やタイマーの設定に使用します。
ソースがiPodのときは、メニューの決定に使用します。

G 選局/選択つまみ[TUNING/SELECT]
ソースがチューナーのとき、放送局やプリセットしたチャンネルの選局に使います。
ソースがiPodのとき、このつまみでiPodのメニューをスクロールできます。

H 音量つまみ
音量を調節します。音量の設定は、電源を切っても保持されます。

I 再生/一時停止ボタン[▶/II]
ソースがUSBまたはiPodのとき、再生の開始と一時停止に使用します。
ソースがCDのとき、PD-H380の再生と一時停止を行います。

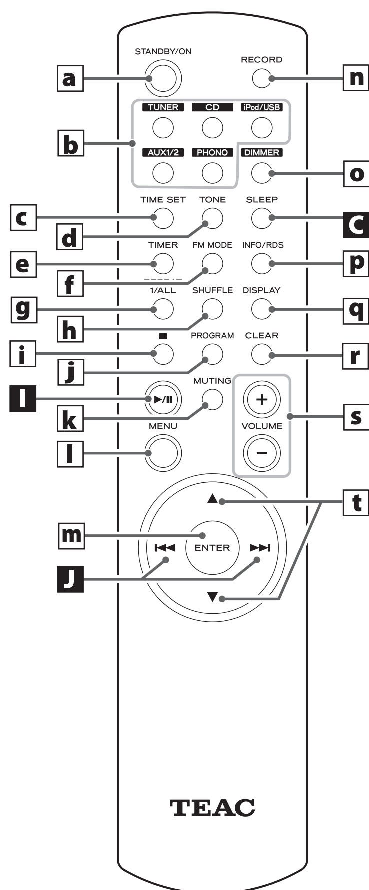
J スキップボタン[SKIP⏮ / ⏭]
ソースがUSBまたはiPodのとき、再生中のファイルや曲のスキップができます。ソースがCDのとき、PD-H380で再生中の曲をスキップします。
再生中にこのボタンを押し続けると曲のサーチを行います。

K ヘッドホン端子[PHONE]
ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグを端子に差し込み、音量つまみで適切な音量にします。

L リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

M ディスプレー

N 電源オン/オフボタン[POWER]
電源をオン/オフします。
システムコントロール機能を使う場合、タイマーでシステムをオン/オフする場合などは、このスイッチはオンにしておいて、リモコンの電源ボタン(STANDBY/ON)でスタンバイ/オンを切り換えてください。
スタンバイではインジケーターがオレンジに、オンではインジケーターが青に光ります。



a 電源スタンバイ/オンボタン[STNDBY/ON]
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

b 入力切換ボタン(TUNER、CD、iPod/USB、AUX1/2、PHONO)
ソースを選択します。

c 時刻設定ボタン[TIME SET]
現在時刻やタイマーの設定を行います。

d トーンボタン[TONE]
低音、高音の調整をするときはこのボタンを押してスクロールボタン(▲/▼)で行います。

e タイマー [TIMER]
タイマーのオン/オフを行います。

f FMモード
FMのステレオとモノラルの切換を行います。

g リピート1/オールボタン[EPEAT 1/ALL]
ソースがUSBまたはiPodのとき、リピート再生のモードを切り換えます。
ソースがCDのときは、PD-H380のリピート再生のモードを切り換えます。

h シャッフルボタン[SHUFFLE]
ソースがUSBまたはiPodのとき、シャッフル再生を行います。
ソースがCDのとき、PD-H380のシャッフル再生を行います。

i 停止ボタン [■STOP]
ソースがUSBまたはiPodのとき、再生を停止します。
ソースがCDのとき、PD-H380の再生を停止します。

j プログラムボタン[PROGRAM]
ソースがUSBまたはiPodのとき、プログラム再生に使用します。
ソースがCDのとき、PD-H380のプログラム再生に使用します。
ソースがチューナーのとき、放送局をプリセットに記憶させるときに使用します。

k 消音ボタン [MUTING]
一時的に音を消します。

l メニューボタン [MENU]
ソースがiPodのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューに戻ります。iPodのメニューボタンと同じ働きをします。

m エンターボタン [ENTER]
現在時刻やタイマーを設定するときに使用します。
ソースがiPodのとき、メニューの決定を行います。

n 録音ボタン [RECORD]
USBメモリーなどへの録音を開始します。

o ディマーボタン[DIMMER]
ディスプレーの明るさの切換を行います。

p INFO/RDSボタン[INFO/RDS]
本機では使用しません。

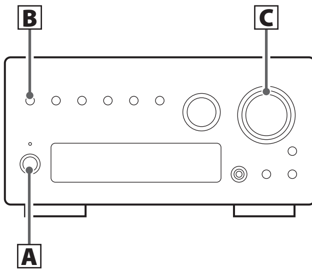
q 画面表示ボタン[DISPLAY]
ソースがUSBまたはiPodのとき、ディスプレーに表示する情報を切り換えます。

r 消去ボタン[CLEAR]
プログラムを消去するときに使います。

s 音量ボタン[VOLUME]
音量を調節します。

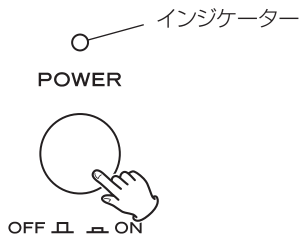
t スクロールボタン[▲/▼]
ソースがUSBのとき、フォルダやファイルの選択を行います。
ソースがiPodのとき、メニューのスクロールを行います。
トーンボタン(TONE)を押すと、低音、高音の調節ができます。

基本操作



A 電源を入れるには

電源ボタン(POWER)を押して、電源のオン/オフを行います。
システムコントロール機能を使う場合、電源スイッチ(POWER)は常にオンにしておいて、リモコンの電源ボタン(STANDBY/ON)でオン/オフしてください。

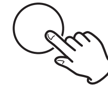


インジケーターが青色に点灯します。

- 本機の電源を入れると、電源を切る前に選択されていた機器が自動的に再生または受信状態になります。
- 電源を切ると時刻設定は、維持されません。

B 聴きたいソースを選ぶには

入力切換ボタン(SOURCE)を押すたびに、ソースが以下のように変わります。聴きたいソースが表示されるまで、ボタンを繰り返し押してください。

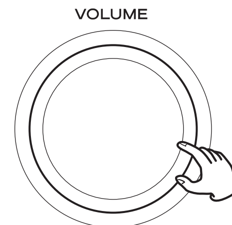




リモコンでソースを選ぶときは、聴きたいソースのボタン(TUNER、CD, iPod/USB、AUX1/2、PHONO)を押します。

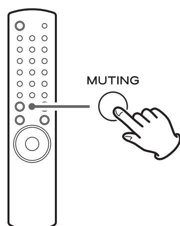
C 音量を調節するには

音量つまみ(VOLUME)を回します。
音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。
突然大きな音が出ると、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。



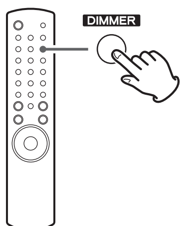
D 一時的に音を消すには(ミュート)

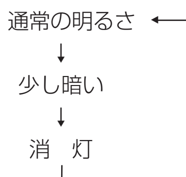
消音ボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。



E ディスプレーの明るさを調節するには

ディマーボタン(DIMMER)を押してディスプレーの明るさを3段階で調節します。



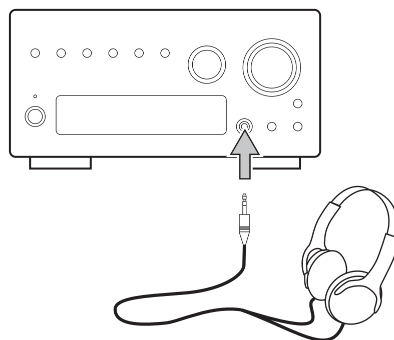


● 電源を切ると設定は取り消されます。

F ヘッドホンで音楽を聴くには

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグ(φ3.5mmミニプラグ)をヘッドホン端子に差し込み、音量つまみ(VOLUME)で音量を調節してください。

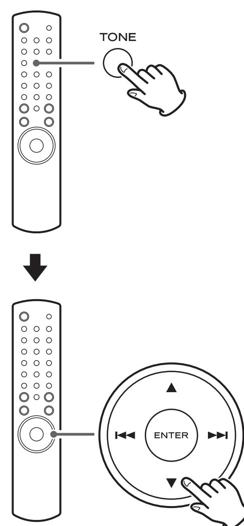
ヘッドホンプラグが差し込まれているときは、本機に接続されているスピーカーから音声は出力されません。



G 低音域/高音域を調整するには

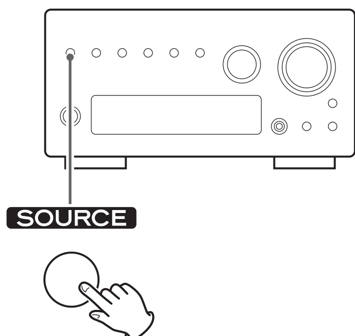
低音域と高音域を−10から+10の範囲で調整することができます。

トーンボタン(TONE)を押して、低音(BASS)または高音(TREBLE)を選択します。5秒以内にスクロールボタン(▲/▼)を押して、レベルを調整してください。



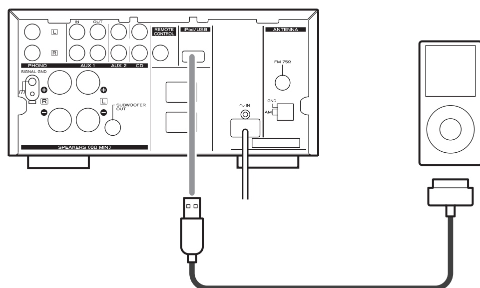
iPodを聴くには

1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、「USB/iPod」を選ぶ。



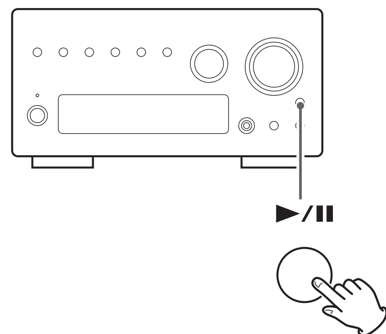
2 iPod付属のUSBケーブルを使用して、本機に接続する。

iPodの電源が自動的にオンになり、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。
自動的に再生が始まらない場合はiPodのメニューにしたがって音楽を選択してください。
入力が他のソースのときにiPodを差し込むと、iPodの電源がオンになり、iPodは一時停止状態になります。



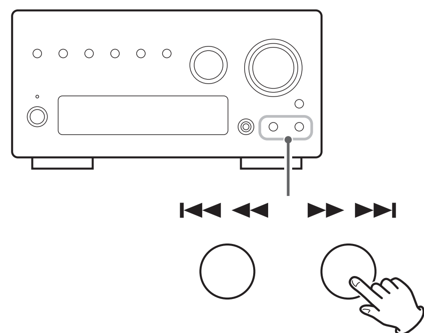
- iPodが本機と接続されていて、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。フル充電すると充電を停止します。スタンバイの時は充電しません。
- 本機とiPodが接続されているときは、iPodのヘッドホンから音は出ません。ヘッドホンでお聴きになりたいときは、本機のヘッドホンジャックに、ヘッドホンを接続してください。

一時停止するには



再生中に、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、一時停止します。
もう一度再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再び再生が始まります。

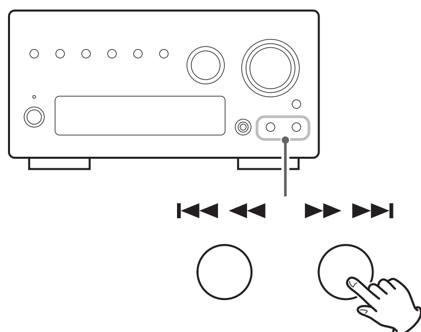
聴きたい曲を探すには(スキップ)



再生中にスキップボタン(|◄◄ または ►►|)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生します。希望する曲になるまで、繰り返し押してください。

- |◄◄ を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、|◄◄ を続けて押してください。

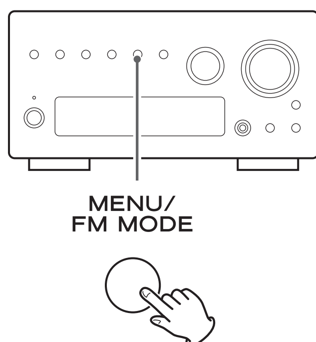
聴きたい部分を探すには(サーチ)



再生中にサーチボタン(⏮ ◀◀/▶▶ ⏭)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

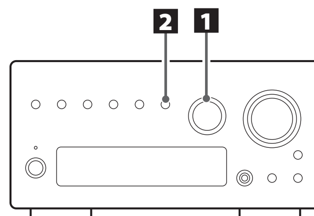
● サーチ中、音は出ません。

前のメニューに戻るには



メニュー /FMモードボタン(MENU/FM MODE)を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

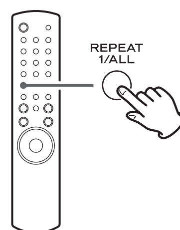
メニュー項目を選ぶには



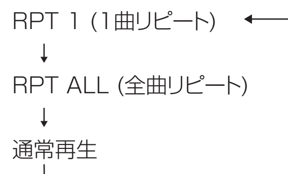
1 チューニング/選択つまみ(TUNNING/SELECT)を回して、メニュー項目を選択する。

2 チューニングモード/エンターボタン(TUNNING/ENTER)を押して、選択を確定する。

リピート再生するには



再生中にリピートボタン(REPEAT)を押すたびに、リピートのモードが変わります。



1曲リピート(RPT 1)

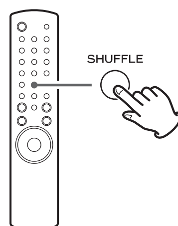
ひとつの曲を繰り返し再生します。再生中にスキップボタンを使用して、違う曲に変更できます。変更した曲を繰り返し再生します。
再生停止中であってもリピート再生をすることができます。リピートボタンを押してから、スキップスキップボタンで曲を選択します。

全曲リピート

フォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。

iPodを聴くには(続き)

シャッフル再生するには



再生中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、シャッフルのモードが変わります。

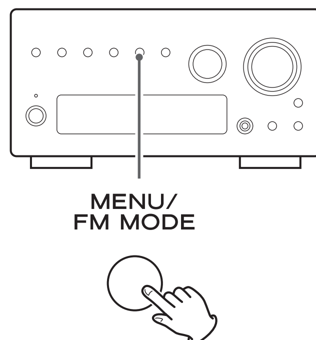


「RDM Song」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。

「RDM Album」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

使用するディスプレーを変えるには

iPodを接続した状態で、メニュー /FMモードボタン[MENU/FM MODE]を4秒以上押し続けると、使用するディスプレーが変更されます。



ダイレクトモード

iPodのディスプレーを使用します。
メニューがiPodの画面に表示されます。
本機のディスプレーには「Direct Mode」と表示されます。
工場出荷時は、ダイレクトモードが選択されています。

エクステンドモード

本機のディスプレーを使用します。
iPodのディスプレーにはティアックのロゴマークが表示されます。
再生中の音楽の情報(曲/アルバム/アーティスト名)が本機のディスプレーに表示されます。
曲/アルバム/アーティスト名は、1バイトのアルファベットでしか表示されません。日本語や中国語などの2バイトの文字には対応していませんので、正しく表示されません。

本機で使用できるiPod

本機で使用できるiPodは以下の通りです。

iPod (第5世代)
iPod classic
iPod nano (第1世代から第5世代)
iPod touch (第1世代から第3世代)

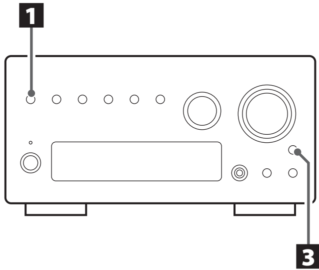
以下のモデルは、ダイレクトモードに対応していません。

iPod (第5世代)
iPod nano (第1世代、第2世代)

● iPhoneは、設定で「機内モード」をオンにすれば、本機で音声を聴くことができます。

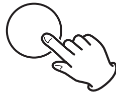
本機で使用できるiPodについては、以下の弊社ホームページのiPod対応表もご覧ください。
http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

USBメモリーを再生するには



本機はUSBフラッシュメモリーを始め、MP3プレーヤーやHDDなど、さまざまなUSBストレージデバイスに保存されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

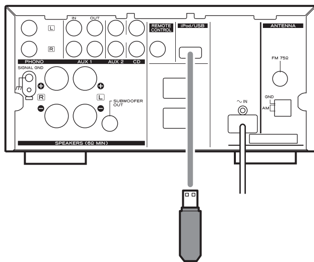
1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して、「USB/iPod」を選ぶ。



USBメモリーが接続されていないときは、ディスプレーに「Not connected」と表示されます。

2 USBメモリーを本機に接続する。

ハードディスクドライブなどの大容量の機器を接続したときには、情報の読み込みに数分かかることがあります。



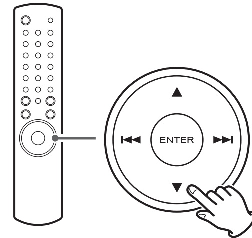
3 再生/一時停止ボタン(▶/II)を押す。



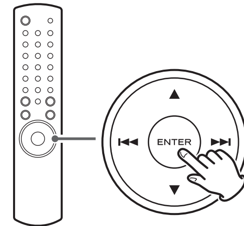
サーチ(MP3/WMA)

USBメモリーの再生中または停止中に、MP3/WMAのフォルダを探したり、聴きたい曲を探すことができます。

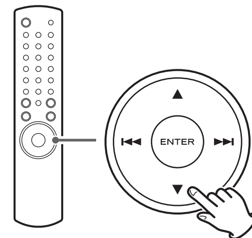
1 スクロールボタン(▲/▼)を押して、再生したいフォルダを選ぶ。



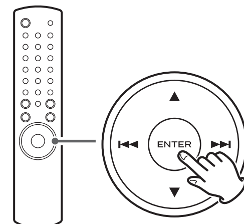
2 エンターボタン(ENTER)を押す。



3 さらに、曲を指定したいときはスクロールボタン(▲/▼)を押して、再生したい曲を選ぶ。



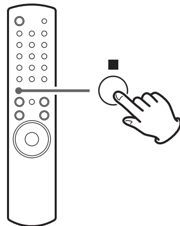
4 エンターボタン(ENTER)を押す。



選んだ曲から再生が始まります。

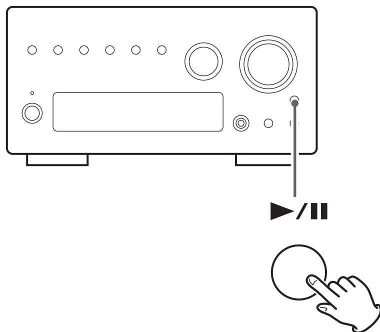
USBメモリーを再生するには(続き)

再生を停止するには



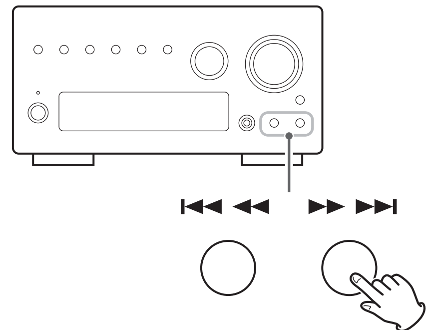
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

再生を一時停止するには



再生中に、再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、一時停止します。
もう一度再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

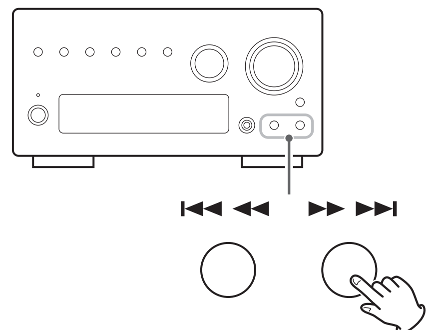
聴きたい曲を探すには(スキップ)



再生中にスキップボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

● 再生中は、I◄◄ を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ を続けて押してください。

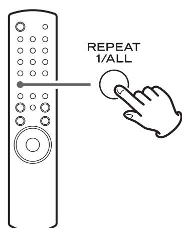
聴きたい部分を探すには(サーチ)



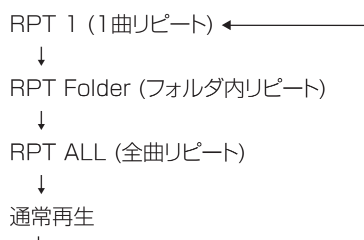
再生中にサーチボタン(I◄◄ ◄◄/►► ►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

● サーチ中、音は出ません。

リピート再生(USB)



再生中にリピートボタン(REPEAT/1/ALL)を押すたびに、リピートのモードが以下のように変わります。



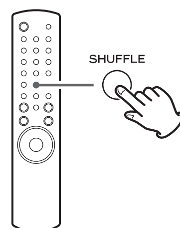
以下のボタンを押すと、リピート再生は解除されます。
停止ボタン(■)、入力切換ボタン(SOURCE、TUNER、CD、iPod/USB、AUX1/2、PHONO)、電源ボタン(POWER、STANDBY/ON)

1曲リピート(RPT 1)
再生中の曲がくり返し再生されます。一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲のくり返し再生に変わります。

フォルダ内リピート(RPT Folder)
再生中のフォルダのすべての曲を繰り返し再生します。
USB内にフォルダがないときは、このモードはスキップされます。

全曲リピート
USBメモリー内のすべての曲を繰り返し再生します。
プログラム再生中は、プログラム再生の曲を繰り返し再生します。

シャッフル再生(USB)



シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すとディスプレーに「Randam」と表示され、フォルダ内の曲をランダムに再生します。

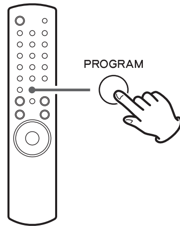
- シャッフル再生中に、スキップボタン(►►I)を押すと、次の曲がランダムに選曲され再生が開始されます。
  またスキップボタン(I◄◄)を押すと、直前に演奏された曲にスキップします。
  シャッフル再生中は、リピート再生はできません。

- シャッフル再生を中止したいときは、シャッフルボタンをもう一度押すか、停止ボタン(■)を押してください。

プログラム再生(USB)

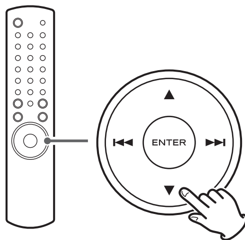
32曲まで、プログラムして再生することができます。

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。



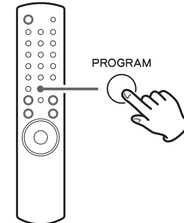

```
P-00 T-0000
Total File: 0130
```

2 スクロールボタン(▲/▼)を押して、曲を選ぶ。




```
P-01 T-0012
Total File: 0130
```

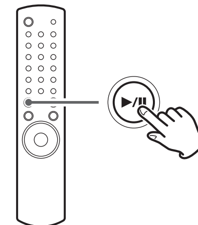
3 5秒以内にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。




```
P-02 T-0012
Total File: 0130
```

- **2**と**3**を繰り返して、プログラムする曲を追加します。
- 間違えたときは、クリアボタンを押すと直前の曲を取り消すことができます。
- 32曲までプログラムできます。32曲を超えてプログラムしようとすると、ディスプレーに「P-FULL」と表示され、追加することはできません。

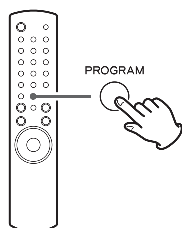
4 プログラムが完了したら、再生/一時停止ボタン(▶/II)を押す。



プログラム再生が始まります。
すべての曲の再生が終わるか停止ボタンを押すとプログラム再生は終了します。

- 電源コードを外すと、すべてのプログラムは消去されます。

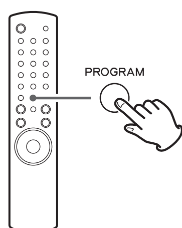
プログラム内容のチェック



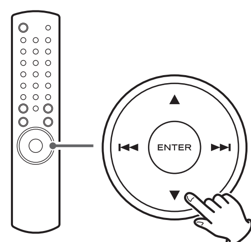
停止中にリモコンのプログラムボタン(PROGRAM)を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

プログラムに曲を追加するには

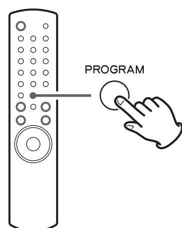
1 停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)をくり返し押して、追加したいプログラム番号を表示させる。



2 新しい曲番をスクロールボタン(▲/▼)を押して選ぶ。



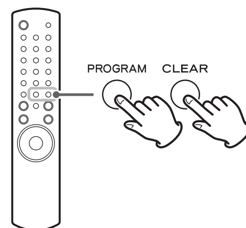
3. プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



そのプログラムが追加されます。

● プログラムの最後に曲を追加したい場合は、最後の曲が表示された後、「P-End」が一瞬表示されたら、新しい曲番を選んでプログラムボタン(PROGRAM)を押してください。

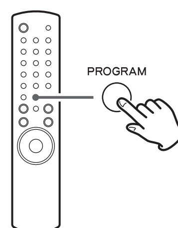
プログラムから曲を消去するには



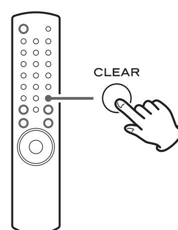
停止中に、削除したい曲番が表示されるまでプログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押してから、クリアーボタン(CLEAR)を押してください。

すべてのプログラム内容を削除するには

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。



2 クリアーボタン(CLEAR)を約4秒以上押す。

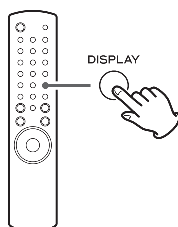


● 以下のボタンを押した場合も、プログラム内容は消去されます。

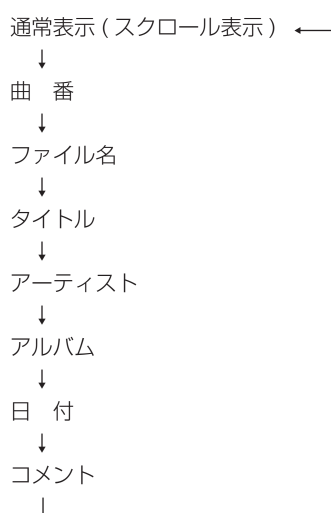
入力切換ボタン(SOURCE、TUNER、CD、AUX1/2、PHONO)、電源ボタン(POWER、STANDBY/ON)

● 電源コードを外すと、すべてのプログラムは消去されます。

ディスプレー表示(USB)



再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を繰り返し押して、曲の情報を表示することができます。



- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

USB録音の前に

本機では、CDやラジオ、外部入力ソース(レコード、カセットテープなど)の音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。

録音するときのご注意

- 録音中にUSBメモリーを取り外したり電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
- 適切な音量で録音するために、録音するソースの音量をあらかじめ確認してください。
- 本機でUSBメモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめUSBメモリーの容量をパソコンで確認してください。

録音されるファイルについて

- 録音されたファイルは「AUDIO」フォルダに記録されます。
- ファイル名は、「AUDIO001.MP3」、「AUDIO002.MP3」のような順序で自動的に記録されます。

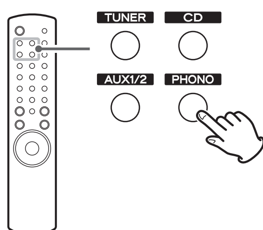
  例：
  すでに「AUDIO」フォルダに「AUDIO004.MP3」と「AUDIO009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに記録されるファイル名は「AUDIO010.MP3」となります。
- 本機で録音する場合には、MP3ファイルのID3タグ(曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報)は記録されません。

USBメモリーに録音するには

ラジオ、外部入力ソース(CDプレーヤー、カセットテープ、レコードなど)などの音声をMP3形式にしてUSBメモリーに録音することができます。

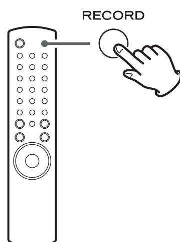
1 本機のUSB端子にUSBメモリーを接続する。

2 録音するソースを選ぶ。



● iPod/USBは選択できません。

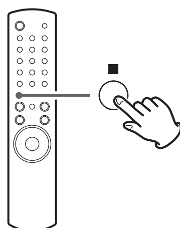
3 録音ボタンを押して録音を開始する。



● USBメモリーに空き容量がないときや、USBメモリーがロックされているときは録音することができません。

● USBメモリーを再生しながら、その音声を録音することはできません。

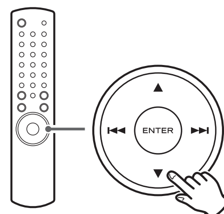
録音を停止したいときは



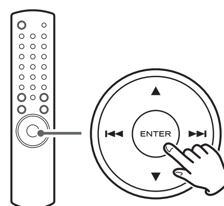
停止ボタン(■)を押してください。

USBメモリーから曲を消去するには

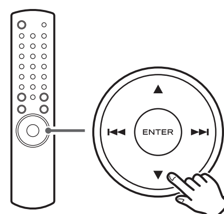
1 停止中に、スクロールボタン(▲/▼)を押してフォルダを選択する。



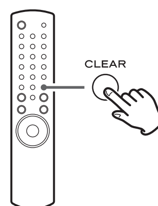
2 エンターボタン(ENTER)を押す。



3 スクロールボタン(▲/▼)ボタンを押して曲を選ぶ。

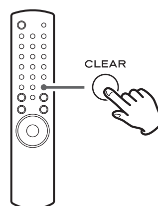


4 消去ボタン(CLEAR)を4秒以上押し続ける。



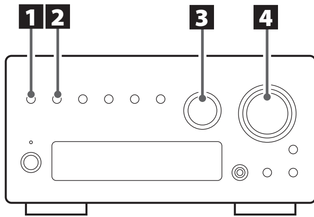
ディスプレーに「Delete?」が表示されます。

5 3秒以内にもう一度消去ボタン(CLEAR)を押す。

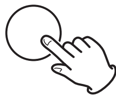


● 3秒以内に消去ボタンを押さないと、消去の操作はキャンセルされます。

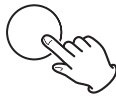
ラジオを聴くには



1 入力切換ボタン(SOURCE)を繰り返し押して、チューナー (TUNER)にする。



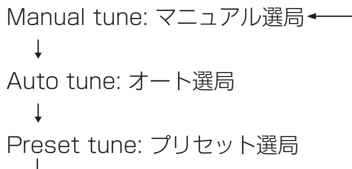
2 バンドボタン(BAND)を押して、FMまたはAMを選ぶ。



3 チューニングモードを選ぶ。

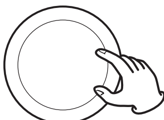


チューニングモードボタン(TUNING MODE)を押すたびに、モードが以下のように変わります。



- プリセットの方法は、「放送局のプリセット」(次ページ)をご覧ください。

4 選局をする。



マニュアル選局(Manual tune)

選局つまみを回して聴きたい放送局を選びます。

リモコンではスキップボタン(⏮/⏭)を使用します。

FMでは50kHz刻み、AMでは9kHz刻みで周波数が変わります。

オート選局(Auto tune)

選局つまみを回すと選局が自動的に始まります。放送局を受信すると止まります。

聴きたい放送局が見つかるまで、繰り返してください。

- エンターボタン(Enter)を押すと、オート選局は止まります。

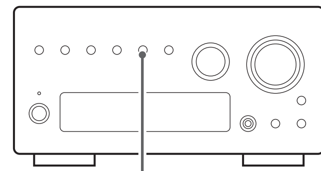
プリセット選局(Preset tune)

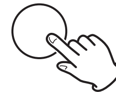
選局つまみを回してプリセットされた放送局を選びます。

リモコンではスクロールボタン(▲/▼)を使用します。

FMモード

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。





Stereo(ステレオ)

FMステレオ放送をステレオで受信します。FMステレオ放送の受信中はディスプレーに「ST」が表示されます。

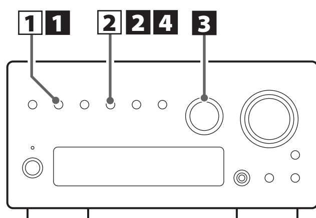
```
FM/ST        10:00
        108.00MHz
```

Mono(モノラル)

FM放送をモノラルで受信します。FMステレオ放送の受信状態が悪く、STEREOが点滅しているときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

放送局のプリセット

FM、AM放送を各30局までプリセットできます。



オートプリセット

1 バンドボタン(BAND)でFMまたはAMを選ぶ。

BAND



2 メモリーボタン(MEMORY)を3秒以上押す。

MEMORY



本機は自動的に放送局を選局し、チャンネル1から順にプリセットします。

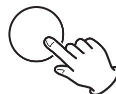
マニュアルプリセット

1 プリセットしたい放送局を受信する。

26ページの手順 1 から 4 を参照してください。

2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

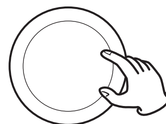
MEMORY



```
FM        10:00
CH__   108.00MHz
```

3 4秒以内に、選局つまみ(TUNER/SELECT)をまわして、プリセットするチャンネルを選択する。

TUNING/SELECT



```
FM        10:00
CH12   108.00MHz
```

4 4秒以内にメモリーボタン(MEMORY)を押す。

MEMORY

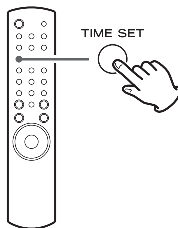


放送局がプリセットされます。

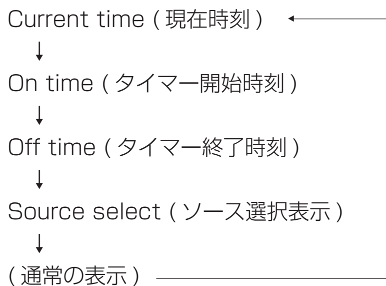
- 新たにプリセットするとこのチャンネルに以前プリセットされていた周波数は上書きされます。

現在時刻の設定

1 時刻設定ボタン(TIME SET)を1回押す。

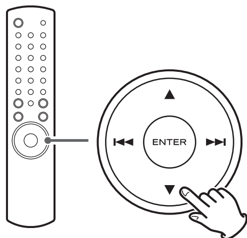


ボタンを押すたびに、ディスプレーの表示が以下のように変わります。

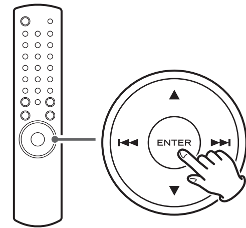


- 現在時刻は12時間表示です。
- ボタンを押してから1分以上何も操作されないと、時刻設定モードはキャンセルされます。
- 時刻設定モードを終了させたいときは、停止ボタン(■)を押します。

2 スクロールボタン(▲/▼)を押して「時」を合わせる。

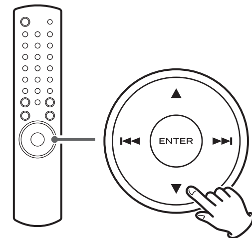


3 エンターボタン(ENTER)を押す。

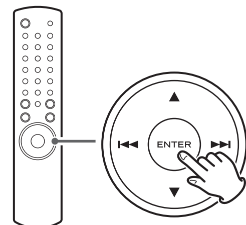


「分」表示が点滅します。

4 スクロールボタン(▲/▼)を押して「分」を合わせる。



5 エンターボタン(ENTER)を押す。



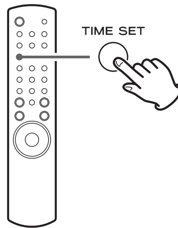
時計がスタートします。

- 現在時刻の設定は、電源を切ると保持されません。

タイマーの設定

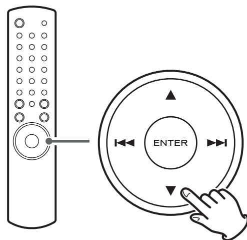
- タイマー設定を行う前に、現在時刻を設定してください。
- 1分間なにも操作しないとタイマー設定はキャンセルされます。

1 時刻設定ボタン(TIME SET)を2回押す。

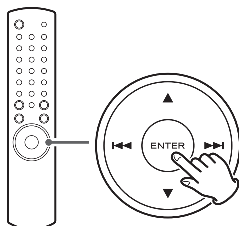


ディスプレーに「On time」と表示され、「時」表示が点滅します。

2 スクロールボタン(▲/▼)を押して開始「時」を合わせる。

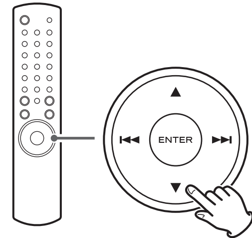


3 エンターボタン(ENTER)を押す。

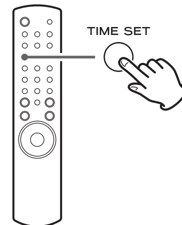


「分」表示が点滅します。

4 スクロールボタン(▲/▼)を押して「分」を合わせる。



5 時刻設定ボタン(TIME SET)を押す。



「Off time」がディスプレーに表示されます。

6 2から5を繰り返して終了時刻を設定する。

「Source select」が表示されます。

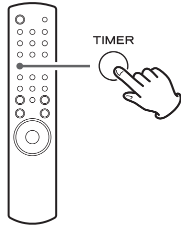
7 スクロールボタン(▲/▼)を押してソースを選び、エンターボタン(ENTER)を押す。

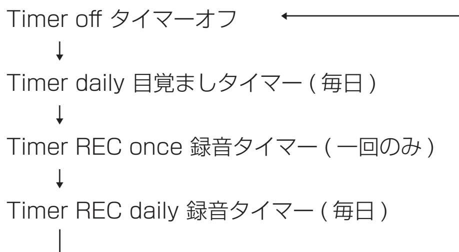
タイマーが設定されます。

- タイマーの時刻設定などを変更する場合は、開始時刻、終了時刻、ソース選択が独立で設定可能です。時刻設定ボタン(TIME SET)を押して設定項目を選び、設定してください。

タイマーの操作

タイマーボタンを押すごとに、タイマーのモードが以下のように変わります。





目覚ましタイマー

毎日設定した時刻になると電源がオンになり再生を始めます。設定した終了時刻になると電源がオフ(スタンバイ)になります。

1 タイマーボタン(TIMER)を繰り返し押して「Timer daily」を選ぶ。

タイマーインジケーター「 」が点灯します。

2 タイマー再生の準備をする。

ソースを準備し、音量を調節してください。

3 スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイにする。

タイマーは毎日設定された時間に働きます。

● 主電源(フロントパネルの電源ボタン)を切らないでください。設定したタイマーが働かなくなります。

録音タイマー

設定した時刻に、1回だけまたは毎日、選んだソースをUSBメモリーに録音します。
あらかじめUSBメモリーを接続しておいてください。

1 タイマーボタン(TIMER)を繰り返し押して「Timer REC once」または「Timer REC daily」を選ぶ。

タイマーインジケーター「 」と録音インジケーター「 」が点灯します。

2 タイマー録音の準備をする。

放送局を受信するなど、ソースを準備してください。

3 リモコンのスタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイにする。

「On time」で設定した時間に電源が入り、録音が始まります。
「Off time」で設定した時間になると、自動的に録音が停止し、スタンバイになります。

● 主電源(フロントパネルの電源ボタン)を切らないでください。設定したタイマーが働かなくなります。

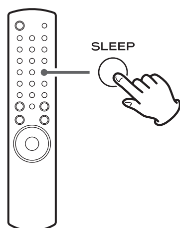
タイマーをオフにするには

タイマーを使用しない場合は、タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して「Timer off」を選んでください。

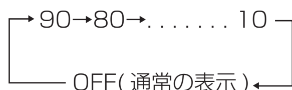
タイマーインジケーター「 」が消灯します。

スリープタイマー

電源を一定時間後に自動的にオフ(スタンバイ)にする機能です。



スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、時間が切り替わります。90分から10分まで、10分刻みで設定できます。

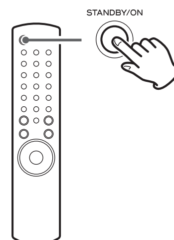


- スリープ機能が働いているときは、ディスプレーが暗くなります。
- スリープ中にスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、スリープするまでの残り時間が3秒間表示されます。

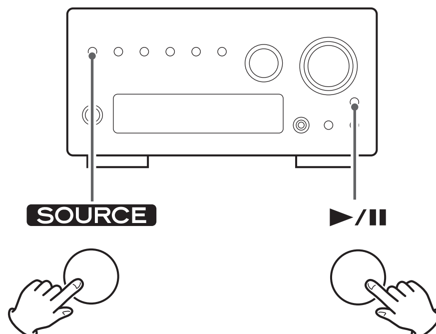
工場出荷時の設定に戻すには

すべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 リモコンの電源スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押してスタンバイ状態にする。



2 入力切換ボタン(SOURCE)を押しながら再生/一時停止ボタン(►/II)を4秒以上押し続ける。



モデル名(AG-H380JPN)と本機のマイコンのソフトウェアのバージョンがディスプレーに表示され、電源がオンになります。

すべての設定は、工場出荷時の状態に戻ります。

- タイマー等の設定はすべて消去されますので、再設定の必要があります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

アンプ部

電源が入らない

➡ 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

➡ 電源プラグを差し込んだコンセントに電流は流れていますか？電気スタンドなどを接続して確認してください。

音が出ない

➡ スピーカーとの接続をご確認ください。

➡ 音量つまみで音量を調節してください。

➡ 入力切換ボタン(INPUT)で聴きたいソースを選んでください。

➡ ヘッドホンをヘッドホンジャックから取り外してください。

➡ ミュートになっているときは消音ボタン(MUTING)をもう一度押してください。

音に雑音がまざる

➡ テレビに近い位置に設置すると雑音がすることがあります。テレビから離して設置してください。またはテレビの電源をオフにしてください。

時計が合わなくなる

➡ 時計の設定は、電源をオフすると保持されません。フロントパネルの電源をオフにしないでください。

チューナー部

ラジオのどの局も受信できない、または受信状態が悪い

➡ アンテナの接続を確認し、アンテナの方向を調整してください。

➡ テレビがそばにあるときは、テレビの電源をオフにしてください。

➡ 正しく選局してください。

➡ 電波状態が改善しない場合は、屋外アンテナを使用してください。

ステレオ放送が、モノラル音声になってしまう

➡FMモードボタン(FM MODE)を押してステレオ受信に切り換えてください。

iPod

iPodが動作しない

➡ 一度iPodをUSB端子から外し、しばらくしてから再度iPodを接続してください。

➡ iPodのソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合があります。アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

iPodの操作ができない

➡ iPodのHOLDスイッチを解除してください。

USBメモリー(MP3/WMAファイル)

再生一/時停止ボタンを押しても、音が出ない

➡ USBメモリーにMP3、WMAのファイルがあるかどうかご確認ください。

➡ 再生可能なフォーマットで書かれているファイルかどうかご確認ください。(詳しくは6ページをご覧下さい)

ディスプレーに「No Song title No Artist No album」と表示される

➡ 音楽ファイルにそれらの情報が入っていません。パソコンのMP3またはWMAのファイル作成ソフトで、曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報を書き込むことができます。

正しく表示されない文字がある

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

タイマー

タイマーが設定できない

➡ 現在時刻はセットされていますか?(28ページ)

➡ 現在時刻ボタン(TIME SET)で設定した項目を選んでください。

➡ 本体の主電源を切らないでください。

タイマーが動作しない

➡ 現在時刻、タイマーオン/オフ時刻、ソースは正しく設定されていますか?(28、29ページ)

➡ タイマーボタン(TIMER)で、動作させるタイマーのモードを選んでください。(30ページ)

➡ 本体の主電源を切らないでください。

➡ Timer Rec Onceは一回しか動作しません。

リモコン

リモコンで操作できない

➡ 本体の主電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(6ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 蛍光灯が本機の近くにあるときは、消してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常に動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約1分後にはじめからから操作してください。

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、「工場出荷時の設定に戻すには」の手順で、工場出荷時の設定に戻してから再度操作をしてください。(31ページ)

設定情報の保持について

設定した内容は、メモリー機能により保持されますが、電源プラグを抜いた状態で14日以上放置するとすべてのメモリーが消去されます。
また、再び電源プラグを差し込んでも、メモリー機能が復帰するまで3日以上かかります。

エラーメッセージ

Resetting

本機に内蔵されているマイコンが誤動作しています。「工場出荷時の設定に戻すには」の手順に従って、工場出荷時の設定に戻してください。(31ページ)
タイマー等の設定はすべて消去されますので、再設定の必要があります。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

仕　様

アンプ部

最大出力 . . . . 40W/ch(6Ω, 1kHz, 0.5%)
入力感度/インピーダンス
　PHONO 2.5mV/47kΩ
　AUX, CD、チューナー 200mV/47kΩ
周波数特性 . . . . .20Hz ~ 60kHz(+1/-3dB)

FMチューナー部

受信周波数 . . . . 76.0MHz ~ 90.0MHz
S/N比 . . . . 65dB(モノラル)

60dB(ステレオ)

AMチューナー部

受信周波数 . . . . .522kHz ~ 1,629kHz
S/N比 35dB

USB部

再生
　周波数特性 . . . . 20Hz~20kHz(±2dB)
　S/N比. 85dB以上

録音
　周波数特性 . . . . 20Hz~15kHz(±2dB)
　S/N比. 85dB以上

電源 . . . . .AC100V、50-60Hz
消費電力 85W
待機電力. 0.5W
外形寸法（幅、高さ、奥行）. . . . .215×110×315mm
質量 4.4kg
付属品
　FMアンテナ×1
　AMループアンテナ×1
　リモコン(RC-1225)×1
　乾電池(単4)×2
　電源コード×1
　取扱説明書×1
　保証書×1

仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日、販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

32ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：AM/FMステレオレシーバー　AG-H380
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0111·MA-1527B